

第23期第19回常任理事会議事録

日時 昭和61年6月27日(金) 13:30~17:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 浅井, 吉野, 田宮, 土屋, 松野, 能登,
竹内, 山岸, 河村, 花房

議事

審議事項

1. 国際学术交流について

- (1) 新委員として村山信彦会員(気象衛星センター所長)の追加が承認された。
- (2) 国際学术交流基金への募金のお願いを今後継続して天気に掲載(含振替用紙)することが了承された。
- (3) 中国気象学会から返答があったが, 具体的提案はない。今後は具体的問題が起こったときに対応を検討する。
- (4) 国際学术交流基金への寄付については, 1ヵ月単位で基金へ繰り入れる。振込手数料は一般会計から振り替え, 基金への繰入れは寄付金全額とすることが了承された。
なお, 天気には寄付者名と総口数(累積)を月末締切りで掲載する。寄付者に対しては理事長名の礼状(葉書)を出す。文案は国際学术交流委員会が作成する。
- (5) 研究集会出席補助金の申込みは6月30日で締め切る。7月4日の委員会にて選考等行うことが了承された。
- (6) 1988年に Atmospheric Sciences and Application Air Quality の会議を日本で開催することが検討されている。もし, 開催となれば本学会も共催することになろう。

2. 数値予報シンポジウムについて

(1) 数値予報シンポジウム実行委員会から以下の報告があった。

ア. レセプションは気象庁と学会の共催で行う。
(学会負担3割)

イ. ビデオリレー

台風が来襲した場合は会場の講堂を報道機関に開放する。その場合は第1会議室他2つの会議室で行うので, この会場にテレビを設置する。

ウ. ポスターセッションのボードの借用

エ. ビジョンボックスの借用

以上の経費を学会で引き受けることが承認された。

(2) 論文集の発行

論文集には固有名詞をつけハードカバーの本とする。頁数は約600頁位を予定し単行本の形でペーパーを作る。論文集のWMO加盟国への寄贈は行わず, 著者にはフリーコピーを提供する。会員に対しては安い値で提供することが了承された。

印刷費(編集費を含む)の一部は寄付で賄うこととする。寄付については趣意書作成も含めてすべて実行委員会に一任することが了承された。

3. 昭和62年春季大会について

気象大学校改築のため, 次回当番の筑波地区で開催することを前提として筑波地区研究機関所属の理事で早急に検討する。

4. 次期執行部への申し送り事項について

庶務理事から引き継ぎ事項について原案にもとづいて説明があり, 一部追加のうえ承認された。

5. 会員の新規加入の承認について

個人会員北岡信也ほか41名の新規加入が承認された。

編集後記: 7月28日東北地方の梅雨も明けて, 列島全域が真夏となった。衆参同日選挙, 鹿児島島の豪雨・崖くずれ, 今年の梅雨も, 寒く, 暑く, 長かった。さて,

NEWTON 誌8月号が, 股野氏のシンポジウムでの提言(天気3月号掲載)を紹介している。このような引用・紹介は, 非会員の人達の意向が掴めて参考になる。

(ET)